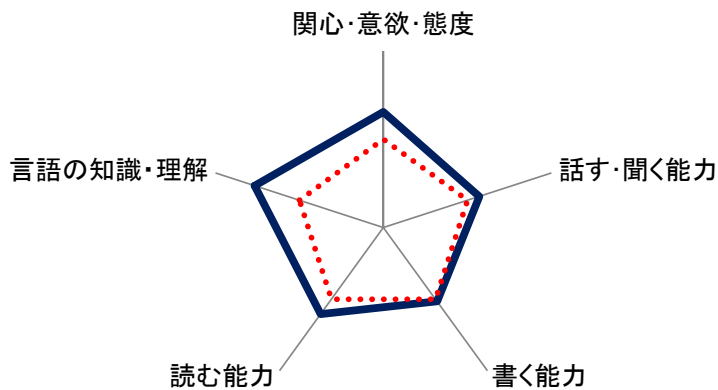


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

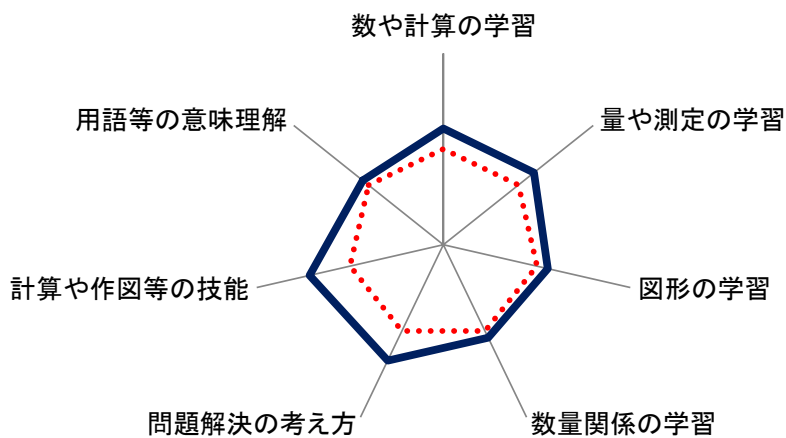
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

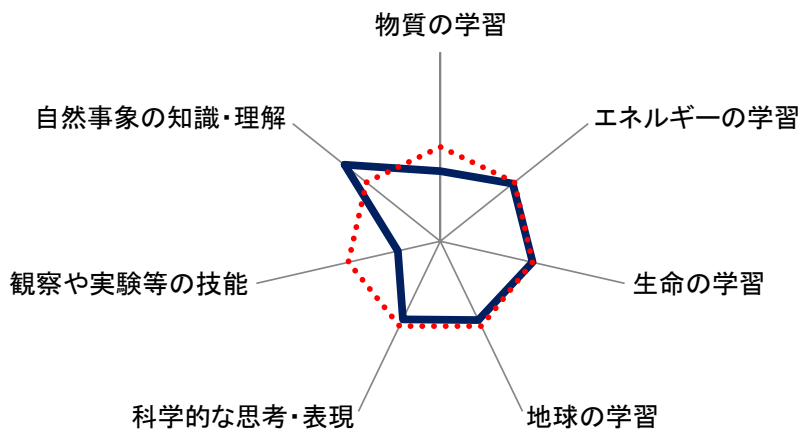
— 町平均
..... 全国平均



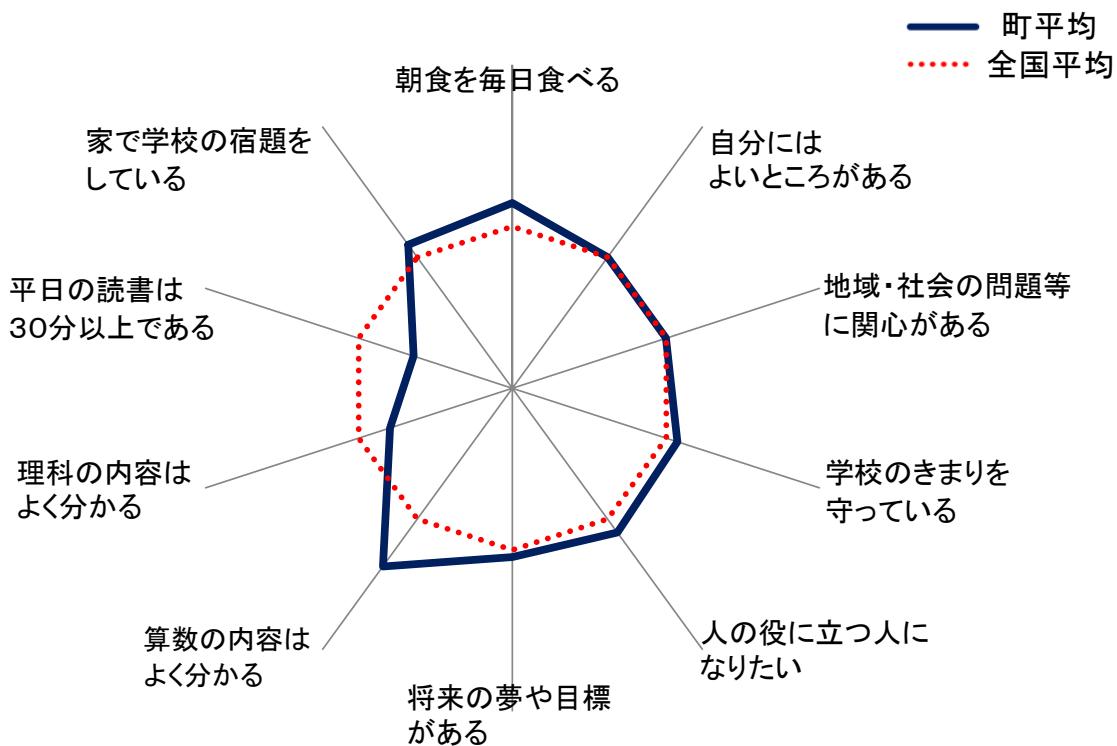
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数、理科の全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っており、結果は良好である。特に国語では「言語の知識・理解」、算数では「計算や作図等の技能」、理科では「自然事象の知識・理解」の各項目がきわめて良好である。今後、理科の課題である「観察や実験等の技能」の向上を目指すとともに、各教科においてバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「算数の内容はよく分かる」の項目の肯定的な回答が全国平均を大きく上回っているものの、「理科の内容はよく分かる」の項目はやや下回っている。また、「朝食を毎日食べる」や「家で学校の宿題をしている」の各項目が全国平均を上回っており、基本的な生活習慣が確立されている。しかし、「平日の読書は30分以上である」の項目が全国平均を大きく下回っており、みきゃん通帳の活用方法を検討するなど、読書に親しむ習慣づくりに心掛け、児童一人一人に応じた読書活動の充実を図る指導が望まれる。